

MIS_t手術のための手術手技・チームビルディングセミナーに参加して

名古屋大学医学部附属病院 脳神経外科

江口馨、粟屋堯之、赤堀翔、西村由介

2017年7月7日（金）～8日（土）にウィンクあいち、名古屋市立大学で開催されました、MIS_t手術のための手術手技・チームビルディングセミナーに参加させていただきましたので、ご報告致します。

第1日目は、ウィンクあいちにてハンズオンの実習でした。名古屋第二赤十字病院の佐藤先生、名古屋市立大学の水谷先生、江南厚生病院の金村先生といったスペシャリストからレクチャーをしていただきました。手術手技や基礎的な解剖学的知識に至るまで、みっちり御指導をいただきました。

また、ハンズオンの実習で私が驚いたのは、セミナーに参加されていた看護師の数が多かったことです。このような研究会に積極的に参加される看護師さん達がいることに大変驚きました。名古屋市立大学手術部の岡田悠揮看護師からも、看護師さんの立場からのMIS手術手技に対する思いを熱く語っていただきました。

レクチャーとハンズオン終了後、各施設からの症例提示とそのディスカッションを行いました。症例もかなり濃い内容で、議論も盛り上がりました。診断、治療方針に関してスペシャリストからのコメントも頂きながら、脳神経外科・整形外科の立場としての意見交換も出来、大変有意義なディスカッションであったと思います。

第2日目のCadaver Trainingは、各テーブル（3テーブル）に御献体1体、講師1名、受講者2名で行いました。

午前、午後で3セッションに分け、PPS、OLIF、XLIF、Xcoreの実習を行いました。事前に、どのような手技に興味があるか、どのような手技を重点的に学びたいかをお伝えしていたので、それに準じたグループ分けをしていただきました。はじめに講師の先生にデモンストレーションをしていただき、続いて2人で順にトレーニングを行いました。御献体1体に対して、受講者2名であったので決められた時間内に十分に実習させていただきました。また細かい手術手技のPoint、Pitfallも確認させていただくことが出来ました。さらに、機材の介助として、名古屋市立大学、名古屋第二赤十字病院、江南厚生病院、はちや整形外科病院から看護師さんや放射線技師さんも参加していただいていたことで、スムーズに実習を行うことが可能でした。X線透視画像で実際に挿入したimplantの位置確認を行い、実際の手術場のような雰囲気であったのも非常に良かったと思います。セッションの最後には、手術手技以外の解剖も勉強することが出来ました。

昨今、低侵襲という言葉がもてはやされており、脊椎手術においても最小侵襲で手術を行うことがトレンドとなっております。それに合わせて、新しい手術手技や機材も増えて来て

おり、それらの確実な技術習得が必須となってきました。

ただ、低侵襲手術というのは、患者さんにとってだけ低侵襲ではなく、それを提供する医療者側にとっても低侵襲であるべきだと私は考えています。それを可能にするには、医者のみならず、看護師さんや放射線技師さんなどの他職種にわたり、疾患やそれに対する手術手技の知識を深め、チームとして結束することが必要と思います。そういった意味でも今回のようなセミナーが多く開催されるように望んでおります。

私ももし今後機会を得られるのであれば、再度参加させていただきたいと思います。

最後に、御指導いただきました講師の諸先生方、手術部看護師さん、放射線技師さん、企業の方々、MERI Japan のスタッフの方々に、熱く御礼を申し上げます。

MIS_t 手術のための手術手技・チームビルディングセミナーに参加して

晋真会ベリタス病院 手術室看護師 竹田真弓

今回、大変貴重なセミナーに参加させて頂きました。現在当院ではオリフの手術であり、今年に入りようやく MED を使った手術を始めたばかりです。私にとっては MIS_t 手術は未知なる世界でした。

初日には術式別に合わせた解剖も含めた講義があり、実際に手術で使用する器械の hands-on セッションを実施していただき、イメージトレーニングが出来ました。また講義の中ではチームビルディングの視点から、手術＝チーム医療。手術に挑む医師と共に手術室看護師として解剖生理は勿論のこと、医師が術中に話している略語なども理解し、次に何を望んでいるのか。チームの中で議論して行く必要があると感じました。

2 日目のキャダバー実習では御遺体に黙祷を行い、敬意を払って直接介助の実習に挑みました。御遺体の献体無くしては学ぶことの出来ない研修でした。

1 ターン 1 時間 40 分の時間配分で 3 ターン実習させて頂きました。

一つ一つ指導医の先生が丁寧に説明をして手術を進めて頂き、手術中に何処に医師が注意を払いながら進めているのか、アプローチの方法などより具体的に学ぶことができました。昨日に hands-on セッションで事前に器械の取り扱いも学べたため、よりスムーズな器械出しが出来ました。不安がある中での参加でしたが、初心者の私でも十分に理解が出来、また新たな発見がありました。

脊椎はとてもシビアでストイックな手術であると私は感じています。その中で脊椎手術は魅力ややり甲斐のある手術であると私は思っています。

脊椎手術は術野が十分に見えないため会話や使う器械によりどこまで展開できているのか、より深く学びを深めたいと今回のセミナーで改めて感じました。

今回このような貴重な研修に看護師が参加できたことは大変貴重な経験となりました。セミナーでは沢山の方々と出会う場ともなり、刺激にもなりました。

ご指導頂いた先生方、またサポートして下さい下さった方々にこの場をお借りしてお礼申し上げます。